



鶴ヶ島市ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化が原因とされる気候変動により、甚大な被害をもたらす自然災害が地球規模で発生しています。国内においても、猛暑や集中豪雨、大型台風など、今までに経験したことのない異常気象が頻発し、私たちの生命や暮らしが脅かされる事態となっています。

このような地球規模の問題に対して、2021年のCOP26では、「世界平均気温の上昇を産業革命以前から1.5℃に抑える」という目標を掲げ、喫緊の課題として取り組んでいくことが再確認されました。

日本においても、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするカーボンニュートラルの実現を目指し、2030年における温室効果ガスを2013年度比で46%削減することとしています。

本市は、快適な居住空間が整備されている一方で、農地や屋敷林、水辺などの武蔵野の原風景が残されており、都市と自然が美しく調和した暮らしやすいまちです。先人から受け継いだこのようなふるさとの環境を守り、次世代に継承していくためには、私たち一人ひとりが地球環境に強い関心と危機感を持ち、脱炭素への取組を進めることが必要です。

未来へ、そして子どもたちのために、市民、事業者、行政が一体となった「オール鶴ヶ島」で、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロとするゼロカーボンシティを目指し、全力で取り組むことをここに宣言します。

令和5年（2023年）3月20日

鶴ヶ島市長

齊藤 芳久